

災害ボランティア感謝の集いに160名 ありがとう！ボランティア！！



参加者のみなさん



人つながり、そして地域力について災害ボランティア活動を考えるシンポジウム

平成22年8月22日(日)午後1時から一宮保健福祉センターにおいて「災害ボランティア感謝の集い2010」を開催しました。この感謝の集いは、昨年の豪雨災害から1年が経過し、被災されたみなさんから「どこかでボランティアのみなさんにお礼を述べたい」という申し出があるのを聞き、本会が企画したものです。当日は、被災されたみなさんをはじめ、あの時来ていただいたボランティアのみなさんにお越しいただき、160名を超える参加となりました。ボランティアの中には、神戸市や加古川市、姫路市、そして県外からの参加もありました。

集いでは、(有)「コラボねっと」取締役の石井布紀子(いしいふきこ)さんにコーディネーターをつとめていただき、シンポジウム「災害ボランティア活動と地域づくりを考える」を開催し、被災者を代表して宍粟市一宮町曲里自治会前会長の安積盛久さん、ボランティアを代表して生涯学習サポート兵庫理事長の山崎清治さん、そして、災害ボランティアセンターを運営した本会から波多野好則コミュニティワーカーが登壇し、当時は振り返ると同時に、人と地域のつながり、ボランティアとして参加して感じたこと、そして、平時から地域力を高める活動が大切であることなど、とても有意義な話が聞けました。シンポジウムの最後には、参加者同士で握手をし、お互いにお礼を述べる機会もあり、意義ある集いとなりました。

参加されたみなさん、本当にありがとうございました。

第2次地域福祉推進計画づくりがスタート

8月6日(金) 一宮保健福祉センター



「これからの宍粟の地域福祉をどう進めるのか」その指針となる第2次地域福祉推進計画を策定する委員会がスタートしました。

第1回目の委員会となったこの日は、委員長に神戸学院大学総合リハビリテーション学部の藤井博志准教授を選出し、計画の期間を2011年(平成23年度)から2015年(平成27年度)までの5年間とすることとしました。

なお、この委員会とは別に、社協の地域福祉担当職員のみで作業部会を月2回開催し、委員会に必要なデータ収集や課題分析を進めていきます。

第2次地域福祉推進計画は、今年度中の策定を目指します。

介護員養成研修2級課程が開講

9月4日(土) 一宮保健福祉センター



市内で活躍するホームヘルパーの養成を目的とした宍粟市社協介護員養成研修の開講式を行いました。

昨年に続き2年目となる今回の研修には、18名の申込みがありました。

開講式で鶴崎和宏社協会長は、「コミュニケーションをしっかりと、利用者の尊厳を守るヘルパーとなってほしい」と受講生を激励しました。

21日間の全研修を終えると、ホームヘルパー2級資格が得られます。受講されるみなさん、大変ですががんばってください。なお、閉講式は1月30日(土)の予定です。